

セブン
7A

私たちの
スローガン
です

Adolescent 思春期保健の推進
Abortion 安全な人工妊娠中絶
Access どこでも誰もがサー
ビスを受けられる
Advocacy 啓発・提言活動
AIDS STI及びHIV/エイズの予防
Ageing 高齢化社会対策
Abuse 児童虐待の防止

家族と健康

Reproductive Health

JFPA®
ジャファ

一般社団法人

日本家族計画協会

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
電話03(3269)4727 FAX03(3267)2658 http://www.jfpa.or.jp
発行人：北村 邦夫 編集人：三橋 裕行 毎月1回1日発行

謹賀新年

本年もよろしくお願い申し上げます

一般社団法人 日本家族計画協会

会長・理事長 北村 邦夫
専務理事 三橋 裕行
職員 一同



前を見つめるフクロウの子どもたち
“苦勞”がなく、幸運に満ちあふれますように…
(写真提供=蓮尾豊氏)

2020年は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に翻弄され続けた1年でした。東京オリンピック・パラリンピックが延期され、臨時休校や入院医療が逼迫することなど、1年前に誰が予測していたでしょうか。ワクチンが世界各国で開発され、既に接種が開始されたとの報道もあります。が、コロナ収束への道筋がつけられる見通しが立っているわけではありません。

2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国が16年から30年の15年間で達成するために17のグローバル目標と169のターゲット(達成基準)からなるSDGsから見ると、SDGsから見るSDGHRの取り組み課題の解決を

いことを目指しています。この目標やターゲットには、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(SRHR)の向上に取り組んできた本会に向けた課題も含まれています。SDGsから見るSDGHRの取り組み課題の解決を

新春によせて コロナ禍にあっても役職員一丸となって

本会会長・理事長 北村 邦夫

このようなコロナ禍にあっても、読者の皆さまにおかれましては健やかに新年をお迎えになられたことと拝察します。日頃から、本会の活動に格段のご高配を賜り、改めて心から厚く御礼申し上げます。

COVID-19の拡大に伴い本会も、例に漏れず、COVID-19の拡大防止として推奨する三密(密

数は437人と昨年度に比べ150人増える結果となりました。本会の事業運営についても従来の形式にこだわらないニューノーマルが求められて

山積しています。世界を震撼させているCOVID-19感染防止対策は言うまでもありませんが、若年妊娠、中絶も刑法による「性交同意年齢」が依然として13歳

遅々として進んでいません。人工妊娠中絶は合法化されているものの、世間で低用量経口避妊薬や緊急避妊薬を無料で提供できないのか、緊急避妊薬のOTC化への道は広がる

「15歳までに、HPVワクチンを推奨される接種回数まで受けられる女性の割合」を高めることが求められています。13年6月から続いて「積極的接種勧奨の差し控え」が依然として解除されていません。この期間に接種機会を逃した若者たちへの定期接種対象年齢拡大を図れないのでしょうか。9

「全国どこでも、誰でも、リプロダクティブ・ヘルス・サービスを受けられる社会を実現する」ことを運動目標として掲げている本会としては、30年まで待つのではなく、攻めの姿勢で臨むことが必要です。

未だかつて人類が経験したことがないCOVID-19の拡大に伴う「自粛生活」は、経済活動の停滞だけでなく、人間関係の希薄化をも招いています。公益民間運動団体として本会が取り組むべき母子保健・思春期保健・学校保健・地域保健・産業保健などの諸課題の解決に向けて、コロナ禍にあっても手を緩めるわけにはいかないとの決意を胸に、新年のあいさつとさせていただきます。

広告



調剤薬局で服薬指導をする中村氏(左)

一日常の仕事について教えてください

中村 調剤薬局での仕事は、患者さんの処方箋を受け、お薬手帳、面談表、これまでの薬歴などから、個々の患者さんごとに処方内容を鑑査して、必要であれば医師に

疑義照会をし、安全・信頼の調剤、帰宅後も困らないような服薬指導をしています。心掛けていることは患者さんの不安な気持ちに気付き安心して帰っていただくことで、スタッフで声を掛け合うようにしています。また在宅訪問、施設の薬剤管理にも関わっているの

で、初めて薬を使う乳児から高齢者まで幅広い年齢層の方にご利用いただいています。取り扱う医薬品情報を日々確認し、医薬品のリスクが最小であるようにと注意してい

緊急避妊薬についても、女性の健康支援のボード（右写真）で紹介しています。年ごろのお嬢さんがいる患者さんは熱心に見ていますのでパンフレットをお渡しするようになっています。

また薬局は地域の方の健康支援なども求められており、私たちも処方箋がなくてもご利用いただけるようにOTCや健康情報などを置いて患者さん、地域の方へ紹介しています。

在宅訪問、施設の薬剤管理にも関わっているの
で、初めて薬を使う乳児から高齢者まで幅広い年齢層の方にご利用いただいています。取り扱う医薬品情報を日々確認し、医薬品のリスクが最小であるようにと注意しています。

去る10月25日「緊急避妊薬コンシェルジュ薬剤師養成セミナー」（主催＝本会、NPO法人HAP）が開催され、166人が本会北村邦夫理事長名で発行された修了証を手にした。

オンライン診療が進み、緊急避妊薬のスイッチOTC化が話題になる中、昨年度までの2年間で計4回開催した「薬剤師のための緊急避妊セミナー」を実践的な内容に改変し、対面で指導する際のスキルアップに重点を置いた。

緊急避妊薬が承認・発売された当初から本会が訴えていた「緊急

避妊はゴールではなく、女性の健康を守るスタートである」という理念を持った薬剤師の活躍が期待される。

準備が整い次第、本会「Dr. 北村のJFPAクリニック」のホームページ上に、「JFPA緊急避妊薬コンシェルジュ薬剤師」を検索できるシステムがアップされる。

本稿ではセミナーレポートに代えて、参加者の一人、株式会社グッドメディカル あおぞら薬局富士見店（山梨県）中村由喜氏にお話を伺った。

「緊急避妊薬コンシエルジエ薬剤師」誕生

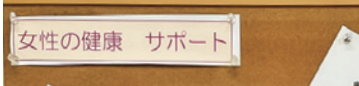
か
中村 これまでは処方箋調剤だけで薬剤師の役割が果たしているように感じていましたが、地域の方の健康支援情報を発信するにはセミナーで学んだことはとても重要でした。何よりも楽しく学んだことは大きく、真摯に、時には楽しく聞きたくなるように伝えることが大事だと考えています。緊急避妊薬の取り扱いには受診後、オンライン処方、スイッチOTC化

—19の影響を実感されていることがありますか？

中村 健康情報の発信、オンライン診療への対応を早急に求められたように感じています。処方箋に関する業務におい

セミナーに参加し、新たな発見がありました

— お薬を渡すだけにとどまらない役割ですね。



女性の健康支援情報をボードに掲示している

に」と講義で学んだ受診理由への配慮をするのと、女性自身が避妊を人任せにしないことなどたくさんの方の発見がありました。そのために性教育の必要性を考え自分のフィールドで何ができるのかを思い描いています。

◇

―現場で生かされている具体例をご紹介ください

中村 JFPAのセミナーは昨年に引き続き2回目です。GATHER

る機会にもなりました。
また薬局は物販ができる場所なので感染情報を更新しながら発信し、感染対策物品の正しい使い方を指導し販売するなどできてきました。外出自粛で

ても調剤した薬を届ける
 ことも増え、患者さんの

ても学んだ言葉掛けを活用することで情報収集が深まっています。特に少し深刻な相談を受けるとき、細かなことへの具体的な配慮、あくまでも語るのは相談者であること、相談者の問題を解決するために自分のできることを常に探し、その引き出しが少しでも広く深くなるよう種々の研修会にも積極的に参加しています。

◇

うれしいお話です。さ

り、薬剤師の役割は薬局の中だけでなく、地域に出、地域の方、他の医療・介護職の方と連携し一人一人の方の暮らしを支援することだと考えるようになりました。

The image shows a bulletin board in a pharmacy with several informational posters. The top poster is titled '女性健康支援情報' (Women's Health Support Information) and features a diagram of the female reproductive system with labels for various parts. Below the diagram, there is a list of symptoms and their causes, such as '月経不調' (Irregular menstruation) and '子宮内出血' (Uterine bleeding). The middle poster is titled '女性健康支援情報' (Women's Health Support Information) and lists various symptoms and their causes, such as '月経不調' (Irregular menstruation), '子宮内出血' (Uterine bleeding), and '子宮頸がん' (Cervical cancer). The bottom poster is titled '女性健康支援情報' (Women's Health Support Information) and lists various symptoms and their causes, such as '月経不調' (Irregular menstruation), '子宮内出血' (Uterine bleeding), and '子宮頸がん' (Cervical cancer).

思春期・青年期向けイベント

“性の文化祭”開催!



2020年10月24・25日に、イベント「セクガク2020」(主催)セクガク実行委員会、後援(本会他)が開催された。これは、日本の若者ユース世代に、性に関するさまざまな課題に当事者意識を持ってもらうための機会を提供すべく企画されたもので、いわば「性に関する文化祭」である。実行委員代表を思春期保健相談士®である岡野めぐみ氏(左記参照)が務め、学生ボランティアらと共に運営した。

オンラインでは、中学生から大学生を主な対象に、思春期向けの性教育

（男女の性、恋愛、避妊・妊娠、性感染症予防などの基礎知識を、医師、助産師、養護教諭らがクイズとレクチャーを交え解説、性の多様性、現代の男性像に関する課題、性の視点から見たスポーツの課題、生涯を通じて家族や子どもを持つかどうか（プレコンセプションケア、社会制度、法制度等も含めて）といったテーマで、講演やパネルディスカッションが行われた。それぞれのプログラムには、学生や、識者・専門職のほか、LGBTQ当事者、セクシユアルワーカーといった、多種	多様な立場 加・登壇し イベントを盛 んな会場での 生理用 ム等の避妊 グッズな どの情報提 供がなされ た。
知識に触	コロナ禍 により各地 で学校行事 や若者主体 のイベント の開催が見 送られる
性に関する	中、若者が

A group of approximately 15 students and one male teacher are posing for a group photo in a classroom. They are all wearing face masks. The students are holding up their 'Blue Planet' project posters, which feature colorful illustrations of marine life and the text 'Blue Planet'. The teacher, wearing a dark suit and a yellow tie, is seated in the front left. The background shows a classroom setting with a whiteboard and various educational posters on the wall.

「セクガク2020」の運営に携わった学生
たち（写真提供＝セクガク実行委員会）

（男女の性、恋愛、避妊・妊娠、性感染症予防などの基礎知識を、医師、助産師、養護教諭らがクイズとレクチャーを交え解説）、性の多様性、現代のム等の避妊具、性に関する

れ、学べる貴重な機会となった。

※このイベントは2年に1度開催され、次回は22年秋を予定している。

(文責＝編集部)

「セクガク」を開催して

実行委員代表者 **岡野めぐみ** (思春期保健相談士®)



代表のおかめちゃんこと、岡野めぐみです。「セクガク2020」は発案から1年かけてやっと開催することができました。ここには全国の中学生から大学生、そして彼らを支える大人たちが結集し、あらゆる荒波を乗り越えて無事イベントを成功させることができました。皆様、応援ありがとうございました。

日頃から持論として「性の話に関係ない事柄はこの世に存在しなことにまだ個人の問題として矮小化わいしょうされたり、自分事にはなっ

て層・潜在層にだけでなく、関心を持ち自分のスペシャリティを「イビスト」にも多くいると感じてきました。そのような中セクガク「こんなにも性の話は広いのか」「こんなにも多様なアクティビスト」と人を可視化して輪をつくる機会になったと、運営メンバーや踏まえて、自負しております。私はいつも「10年後への準備」と後まで2年ごとに開催する所存です。すでに「セクガク2022」に関心のある方はセクガクが岡野までご連絡ください)。

ない」と申ししていますが、残念なことにまだ個人の問題として矮小化されたり、自分事にはなっていないかったりする人が、一般層・潜在層にだけでなく、関心を持ち自分のスペシャリティを追求する「性に関するアクティビスト」にも多くいると感じてきました。そのような中セクガクは、性の分類の垣根を越えて「こんなにも性の話は広いのか」「こんなにも多様なアクティビストが各地でがんばっているのか」と人を可視化して輪をつくる機会になったと、運営メンバーやゲスト・参加者からの評価を踏まえて、自負しております。私はいつも「10年後への準備」と申しますが、セクガクも10年後まで2年ごとに開催する所存です。すでに「セクガク2022」に向けても準備し始めました（関心のある方はセクガクが岡野までご連絡ください）。

社会活動は今すぐ変わる課題はほとんどありません。だからこそ活動し続けることに意味があるのです。皆様も自分のスペシャリティ・専門性を生かして、年齢・性別・出自・居住地など関係なく、今後も一緒に活動していきましょう！ セクガクでは「活動し続けられる人・場所」を今後も創っていきます。【ご連絡はこちら】セクガク実行委員会 sekugaku.ec@gmail.com

【ご連絡はこちら】セクガク実行委員会 sekugaku.ec@gmail.com

OC／LEP処方が私の医師人生をどう変えたか ⑩

Life Design Drugs
低用量ピル(OC) Ⅱ

あおもり女性ヘルスケア研究所（青森県弘前市）

蓮尾
豐



中用量ピルの解禁と中高生への性教育

私ほどOC／LEPとの出会いによって医師人生が変わった人間はいないのではないかと考えています。なぜ、どう変わったかなどに関して述べてみます。

用量ヒルを処方してきました。第2は95年にJRH前駅前で婦人科クリニックを開業しましたが、その年に青森県教育委員会から産婦人科校医の委

用量ピルを処方してきま
した。第2は95年にJ R
弘前駅前で婦人科クリニ
ックを開業しましたが、
その年に青森県教育委員
会から産婦人科校医の委
任を受けてきた多くの10代
女性によって性教育の必
要性を痛感するようにな
り、以来20数年間中学
校・高校での性教育を行
ってきました。

日々の外来での会話が
OC普及につながっていく

いるわけですが、その中
 でも三つのが今の私
 に大きくつながっていま
 す。第1に医師になっ
 た1974年に中用量ピ
 ルがわが国で処方可能
 になったことです。医
 師になつた1年目から
 多くの女性に月経困
 難症や機能性子宮出
 血、卵巣機能不全な
 どの治療として、ま
 た避妊薬（自費）とし
 て中用量ピルなる副作
 用がないことを実感
 していたからです。

第3が99年9月、世
 界に遅れること約40
 年、わが国でも低用
 量ピル（OC）がやっ
 と避妊薬として処方
 可能になったこと
 です。中用量ピルを
 数多く処方していた
 私にとつてOCを処方
 することに抵抗感
 はほとんどありま
 せんでした。中用量
 ピルでも多くの女性
 に問題と二キビが
 気になつてい

「ピル＝ホルモン剤」
 「副作用」という誤
 解が根深く、OCを
 希望する女性
 は多くありません
 でした。しかし、「OC
 = Life Design Drug」
 と考えていた
 私は受診理由に
 かかわらず、月
 経困難症がある

実感していたからです。それでも、わが国では「ビル＝ホルモン剤」副作用」という誤解が根深く、OCを希望する女性には多くはありませんでした。しかし、「OC＝Lifedesign Drugs」と考えていた私は受診理由にかかわらず、月経困難症がある、ニキビが気になってい



ヘリコプターで講演に行ったのは初めての経験（八丈島空港）



青ヶ島中学校での講演風景

OCは人と人をつなぐ
コミュニケーション・ツール

開業した時に60歳になったら開業医を辞めて何かの活動をしたいと思っていましたが、06年ごろからOCや性教育に関連する講演依頼が全国各地から入るようになったこともあり、62歳の時にクリニックを譲渡し、フリーランスとなり10年以上が経過しました。20年はCOVID-19感染症の關係でWEB講演になることも多かったのです

が、それでも中学校・高校や各地区の医会・学会などの依頼により全国に講演に出掛ける機会もあります。19年、北海道の青奥尻中学校と東京都の青ヶ島中学校での性教育は一生忘れることのできる貴重な経験でした。島の子どもたちと触れ合えるすてきな経験ができるのもOC／LEPとの出会いがあつたからです。出身大学も年齢も違つた

る、1年前に中絶の経験があり避妊に不安を感じている、月経痛がなくても仕事や趣味で月経の重なりで苦労しているなどの情報を問診で得ると、当然主訴を解決した後ですが「あなたにとつてのOCの役割」を熱く語るようにしていました。すると、OCのことなどまったく念頭になかった女性にOC希望になることが多いのです。日々の外來はこの繰り返しです。数年後には1か月の処方数が2千シートを超え、開業を辞めるころにはさらに増加していました。

2005年には人口17万人の地方都市弘前の開業医が日本で一番OCを処方しているらしいとのうわさが広まり、全国から若い先生方が私の外來見学を希望され、わざわざ弘前まで来てくれるようになり、OCをきつかけに人とのつながりが増えていきました。

05年、福岡での日本産婦人科医学会性教育指導セミナー全国大会の後だったと思いますが、北村邦夫先生を代表世話人として避妊教育ネットワークという組織を立ち上げ、私も世話人の一人として

| 今月の人 | はすお・ゆたか |

1974年、弘前大学医学部卒業後、95年「弘前レディースクリニックはすお」を開業し、2008年にクリニックを譲渡。14年「あおり女性ヘルスケア研究所」を設立し全国で性教育やＯＣ普及の講演活動などを行っている。日本産婦人科医会特別会員、日本思春期学会功労会員、JFPA市谷クリニック非常勤医師、弘前大学産婦人科学教室同窓会会長。09年日本家族計画協会会長表彰、10年厚生労働大臣表彰を受賞。

本会研究倫理審査 委員会のご案内

本会には研究倫理審査委員会が設置されており、申請を受け付けております。研究倫理審査を希望される方、研究を始めたいが研究計画、研究の進め方などでお悩みの方は、気軽にご相談ください。

【問い合わせ】
 本会家族計画研究センター
 ☎03-3235-2694

お詫び

前号2面で、「マルトリ予防TM 始動」の記事の中に誤りがありました。正しくは以下の通りです。

【共同発表】「子ども虐待の低減に向けた養育者を支援する研修・啓発資材の開発――『とも育てTM』による『マルトリ予防TM』の普及――」の共同発表が行われた。…主催以降削除。

確認不足でした。深くお詫び申し上げます。

第34話
エイズ、
ける！
上げは

第34話
エイズ、ピル解禁遠ざけるーメディアの取り上げは？

十分に認めているが、その解禁が即、ノーコンドームといった風潮になるのを恐れる。

のピルと下次元で論ずることではできない。(世界主要国の中でもピルを解禁していないのは日本とア

1992年4月9日付け日本経済新聞夕刊には、「エイズ患者・感染者急増、ビル解禁遠ざける…正しい知識の普及こそ急務」の文字が躍った。何人かの識者が、この記事中でコメントしている。以下、原文のまま引用させても

●加藤哲也氏（承認申請中の製薬会社9社の一つ、日本シエリング医薬営業統括部参事）…OC（経口避妊薬）連絡会という任意団体を組織しているが、審議会の方針にはお手上げ状態。科学的には問題がないと考えていた。し

イルランドだけ。最近のエイズ旋風の中でも、ビルを禁止した国はない。）

●丸本百合子氏（同愛記念病院産婦人科医師）…（そもそもビルは全面的に禁止されているわけでない。月経困難症の治療薬に使われ、現実には避妊目的で約50万人の女

ピル承認秘話

わが国のピル承認が
—これほど遅れた—
本当の理由(わけ)

北村 邦夫 著

北村邦夫
 性が飲んでいると推定さ
 れている。しかし、それ
 はホルモンの量が多い中
 用量ピル。現在、ホルモ
 ンの量も少なく、副作用
 が少ない低用量ピルが開
 発されている。質の高
 い薬品があるのに、不必

「OCの普及と性教育」に理解と関心のある全国の仲間たちを増やしていきたい。

.....

国の多くの仲間と今のよう
な活動を行うことができて
いるのもOC／LE
Pとの出会いがあったた
からです。OCは私にとっ
て人と人をつなぐコミ
ュニケーション・ツール
そのものなのです。

ニック所長）…審議会の過程で何が起こったのか
が公開されず、不透明だ。
しかも薬事審議会配合剤
の性交渉をもつ人のピル
を選ぶ権利を奪うのはお
かしい。

●堺宣道氏（厚生省保健
有効性を検討・調査する
かしい。

医療局結核・感染症対策室長）・・・（エイズ感染者の急増ぶり。今年2月までの2か月間に国内で見つかった患者・感染者は58人。昨年1年間では前年に比べ2・5倍近くに

機関であって、それ以外の要因で認可を送りするのは問題。エイズのまん延防止に必要なのは、正確な知識の普及と性教育の推進、適切なコンドーム使用の徹底に尽きる。

●高橋久美子氏（女性グループ「女のからだと医療を考える会」）・・・女性の体への安全性についての研究を離れて、ピルが国から規制をつけることに憤りを覚える。

●高橋久美子氏（女性グループ「女のからだ」と医療を考える会）・・女性の体への安全性についての研究を離れて、ピルが国から規制をつけることに憤りを覚える。

廣告